

「遠州灘海浜公園（篠原地区）公園基本計画（素案）」に係る県民意見提出手続きにおける御意見及びそれに対する考え方

1 意見募集の期間

令和6年4月1日（月）から4月30日（火）まで

2 意見提出者数

意見は、123人から提出された。地域別の内訳としては、東部5人、中部10人、西部62人、県外3人、不明43人であった。

3 提出された意見に対する考え方

No.	意見の要旨	意見に対する考え方
1	<p>2章 現状と課題の整理</p> <p>(1) 交通ネットワーク・交通アクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通網の整備も合わせて検討して欲しい。 アクセス道路・駐車場などの環境整備をしてほしい。 アクセス整備、飲食店や宿泊施設の整備等の課題が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園を含む周辺のまちづくりについては、浜松市が検討を進めているところです。道路整備等については、市と連携しながら検討していきます。
2	<p>4章 コンセプト・基本方針</p> <p>(1) 基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本計画素案の基本方針に、スポーツによる「地域経済の活性化やまちづくり」という要素が入っていない。 子供から大人・高齢者まで県民がより健康になるよう、スポーツに取り組めるような魅力ある施設にして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「地域経済の活性化やまちづくり」は重要なことなので、公園を含む全体的な利活用の構想を策定の中で検討していきます。 基本計画策定後、県民の皆様に広く利用していただける魅力ある施設となるよう、検討していきます。
3	<p>5章 公園整備計画</p> <p>1 施設配置計画</p> <p>(1) 駐車場</p> <ul style="list-style-type: none"> 野球場の規模に対して駐車場が少ないと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場の規模は、他の県営公園などを参考に、敷地内に常時1,500台、臨時1,000台の合計で、最大で2,500台を確保することとしています。基本計画策定後、野球場の規模・構造を絞り込んだ段階で、検討していきます。

No.	意見の要旨	意見に対する考え方
	<p>(2) トイレ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場にトイレを設置するべきである。 ・ トイレも国際基準とし、男女のトイレ数がイベント内容で可変できるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ トイレの設置については、基本計画策定後、民間事業者のノウハウを入れながら、公園を含む全体的な利活用の構想を策定する中で検討していきます。
	<p>(3) 多目的広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 野球場だけでなく、サッカー場、バスケットコート、体育館など一般利用者が気軽に利用できる様々なフィールドを整備した方がよいと思う。 ・ スポーツ文化ゾーンに屋根付き照明付きの多目的運動場を建設できないか。 ・ 野球場3面ではなく、人工芝の多目的グラウンドを複数整備し、屋外スポーツの活用促進をすべきと考える。 ・ 多目的広場をバーベキュー広場、キャンプ場、グランピング施設など集客施設にしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園に導入する施設の内容や規模などについては、基本計画策定後、民間事業者のノウハウを入れながら、公園を含む全体的な利活用の構想を策定する中で検討していきます。
	<p>(4) 商業施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商業施設を誘致して、普段から人が出入りする状態にすることで、この施設に経済的効果をもたらすと思う。 ・ 集客のため富士山・巨大なアクト・広がる遠州灘を見渡せる「Enshu SKYWALK」（三島スカイウォークのような施設）を新設するべきである。 ・ 民間企業を巻き込み、周辺地域を含めた総合レジャー施設となるような計画としてほしい。 ・ 遠州灘とドームフィールドを見渡すおしゃれな展望カフェ&レストランの常設することで、国道1号線に沿ったドライブインを兼ねた休憩&観光スポットとして活用できる。 ・ 浜松映画撮影村を設置し集客する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園に導入する施設や管理・運営方法については、基本計画策定後、民間事業者のノウハウを入れながら、公園を含む全体的な利活用の構想を策定する中で検討していきます。

No.	意見の要旨	意見に対する考え方
	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅を整備すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅の整備については、現在、浜松市が検討を進めています。
	<p>(5) サブ球場</p> <ul style="list-style-type: none"> サブ球場は2面も必要ない。 サブ球場のうち一つは体育館もしくは屋内アリーナにすべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園に導入する施設については、基本計画策定後、民間事業者のノウハウを入れながら、公園を含む全体的な利活用の構想を策定する中で検討していきます。
	<p>(6) アーバンスポーツ広場</p> <ul style="list-style-type: none"> アーバンスポーツ広場を南側の多世代型スポーツゾーンに配置する方が良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> アーバンスポーツ広場の配置については、基本計画策定後、民間事業者のノウハウを入れながら、公園を含む全体的な利活用の構想を策定する中で検討していきます。
	<p>(7) ジョギングコース</p> <ul style="list-style-type: none"> ウォーキングやランニングをできる場所を造って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園に導入する施設については、基本計画策定後、民間事業者のノウハウを入れながら、公園を含む全体的な利活用の構想を策定する中で検討していきます。
	<p>(8) キッチンカー</p> <ul style="list-style-type: none"> イベントが開催される時に、キッチンカー等小売できる共同スペース等もあると良いと思う。(静岡県の特産品の販売もできる店舗等) 	<ul style="list-style-type: none"> イベント時のキッチンカーの配置については、園路、多目的広場等に可能と考えております。詳細については、基本計画策定後、民間事業者のノウハウを入れながら、公園を含む全体的な利活用の構想を策定する中で検討していきます。
	<p>(9) 宿泊施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 遠方からの訪問を考慮して宿泊施設も考慮すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊施設としては、スポーツ活動の拠点となる合宿所等を導入することとしています。詳細については、基本計画策定後、民間事業者のノウハウを入れながら、公園を含む全体的な利活用の構想を策定する中で検討していきます。

No.	意見の要旨	意見に対する考え方
	<p>2 その他</p> <p>(1) 防災対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜松市が計画している道の駅を含めて治安確保のため警察の派出所の設置や、災害対策の拠点になるように浜松市消防局の派出所やヘリポートの用意があると良い。 ・防災対策も検討して欲しい。 <hr/> <p>(2) 環境対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂風による球場芝への影響を考慮して、防砂林も整備して欲しい。 ・アカウミガメなど環境に配慮した照明施設にして欲しい。 <hr/> <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外は多目的広場として常緑樹ベンチを設け入場時間前は待機場所とするとよいと思う。 ・野球場建設は反対だが、公園整備は賛成である。 ・各年代の子供が施設を利用した時に一日いても飽きないようなエリアがあるとイベント以外にも利用したくなる。 ・浜松市に関連した展示施設を企業タイアップで作ってはどうか。 ・試合日外は市民の憩いの場として解放して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災上の位置付けについては、基本計画策定後、公園を含む全体的な利活用の構想を策定する中で検討していきます。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外型の野球場は防風対策として外野スタンドの外に樹林帯を設置することとしています。 ・照明については、公園内の照度を落とす、照明施設の高さを低くする、足元灯の活用等を検討し、アカウミガメに影響のないようにすることとしています。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・公園に導入する施設や管理・運営方法については、基本計画策定後、民間事業者のノウハウを入れながら、公園を含む全体的な利活用の構想を策定する中で検討していきます。
4	<p>6章 メイン球場の整備方針</p> <p>1 野球場の規模・構造等に関する意見</p> <p>(1) 1.3万人の屋外型を希望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最も建設費・維持管理費が安価な1.3万人の屋外型を希望する。 ・アマチュア野球チームが気軽にかつ長期滞在で利用できる1.3万人の屋外型に賛同する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・野球場の規模・構造については、公園基本計画策定後、社会情勢やニーズの変化を注視しながら、整備の進め方や建設負担金、役割分担等について関係者と丁寧に協議を行うとともに、県民

No.	意見の要旨	意見に対する考え方
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1.3万人の屋外型の事業費であれば理解が得られる。 ・ メイン球場を1.3万人の屋外型であれば、「する」スポーツの施設として、今のコンセプト（スポーツ公園）が妥当である。 ・ アカウミガメの産卵に影響がない1.3万人屋外型を希望する。 ・ 1.3万人の屋外型であれば、地震津波時に避難がしやすい。 ・ 1.3万人の屋外型であれば、シーズンオフには大学やノンプロのキャンプ地となり、弁天島・舘山寺が宿泊場所として経済効果が期待できる。 	<p>の皆様が利用しやすい施設となるよう配慮した上で、絞り込んでいきます。</p>
	<p>(2) 2.2万人の屋外型を希望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浜松球場の代替の球場であれば2.2万人規模が必要であると考える。 ・ 2.2万人の屋外型の事業費であれば理解が得られる。 ・ 西部地区に県営の野球場がなかったことを考えれば、中部地区草薙球場レベルの2.2万人の屋外型球場が最も相応しいものと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野球場の規模・構造については、公園基本計画策定後、社会情勢やニーズの変化を注視しながら、整備の進め方や建設負担金、役割分担等について関係者と丁寧に協議を行うとともに、県民の皆様が利用しやすい施設となるよう配慮した上で、絞り込んでいきます。
	<p>(3) 屋外型を希望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間利用は浜松市営球場で事足りるため照明なしの屋外型を希望。 ・ 人数のあまりない環境で夜間利用は治安の悪化を招くため、照明なしの屋外型がよい。 ・ 雪の降らない静岡県は青空の下での野球場がいい。 ・ 照明ありとし、アカウミガメの孵化時期は照明を利用しないなど、運用方法で解決し、屋外型とできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野球場の規模・構造については、公園基本計画策定後、社会情勢やニーズの変化を注視しながら、整備の進め方や建設負担金、役割分担等について関係者と丁寧に協議を行うとともに、県民の皆様が利用しやすい施設となるよう配慮した上で、絞り込んでいきます。

No.	意見の要旨	意見に対する考え方
	<p>(4) 2.2万人の多目的ドーム型を希望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本県の集客力がある施設は静岡市に偏りがあり浜松市に多目的ドーム型球場を建設すべきだと思う。 ・ ドーム球場にすれば大規模なコンサートやイベントもでき、大きな運用益が見込まれる。 ・ 篠原地区付近は JR 高塚駅からのアクセス道路が整備され、国道1号に隣接してアクセス面で問題はないため、多目的に利用可能なドーム球場が望ましい。 ・ ドーム型球場を建設し、アカウミガメの問題は設計や運用方法でカバーできるのではないかと考える。 ・ 野球だけでなく、サッカーやラグビーなど多目的に利用できる天然芝の多目的ドームがよい。 ・ プロ野球が年1試合との試算があったが、公式戦を誘致すればもう数試合増やせると考えるので、ドーム球場を希望する。 ・ このタイミングを逃せばドーム型の建設が難しいため賛成である。 ・ 炎天下や雨天など、選手の健康面にも良いため、ドーム型が必要と考えます。 ・ 遠州灘周辺は一年中風が強い地域であり、ドーム球場が良いと思う。 ・ 世界大会も行えるような立派なプールもあるので、野球場もプロ野球の試合はじめ各国と親善試合も行えるような多目的ドーム型が良いと思う。 ・ 地元企業や浜松市からの支援を得て実現する計画であり、パートナーシップの良い見本ともなるため多目的ドーム型野球場を建設する計画に賛成します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野球場の規模・構造については、公園基本計画策定後、社会情勢やニーズの変化を注視しながら、整備の進め方や建設負担金、役割分担等について関係者と丁寧に協議を行うとともに、県民の皆様が利用しやすい施設となるよう配慮した上で、絞り込んでいきます。

No.	意見の要旨	意見に対する考え方
	<ul style="list-style-type: none"> ・2.2万人のドーム型でイベント等を開催し、地域の子供達が全国に誇れる施設として欲しい。 ・多目的ドームとした場合は、サッカー、ラグビー、ライブ、コンサート、展示会などの興行主が集客しやすい構想・設計にすることが重要である。 ・全天候型のドーム球場によって地域経済の活性化につながることを期待する。 ・ドーム球場賛成だが、篠原地区ではアカウミガメに影響があるならば、別の建設地を探せないのか。 ・ドーム型が望ましいが、建設費、利用見込みを検討し、本公園に見合った規模・構造の野球場として欲しい。 	
	<p>(5) その他の規模・構造を希望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋田ドームクラス(客席5000人規模、硬式野球公認)のドーム球場を希望する。多目的利用ができ、青少年利用の利用料も手頃となる。 ・浜松地区は野球の盛んな地区なので、1.3万人規模は少ない。 ・2万人収容の新野球場は不要である。 ・1.5万人程度の規模の屋外型が妥当である。 ・プロ野球本拠地を誘致することを想定し、最初から3万人収容可能な規模で設計しておくことよい。 ・浜松には市営球場があり、新野球場は県民が使いやすい個性と魅力のある小型球場が望まれる。 ・浜松市営球場の利用実績を踏まえ規模を選定する必要がある。 ・費用を抑えた県民が使用しやすい球場にすることを望む。 ・幅広い世代が使える使い勝手の良い施設として欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・野球場の規模・構造については、公園基本計画策定後、社会情勢やニーズの変化を注視しながら、整備の進め方や建設負担金、役割分担等について関係者と丁寧に協議を行うとともに、県民の皆様が利用しやすい施設となるよう配慮した上で、絞り込んでいきます。

No.	意見の要旨	意見に対する考え方
	<ul style="list-style-type: none"> ・観客席に屋根を付けて欲しい。 ・少年野球などが利用しやすいように野球場を4面にするとよい。 ・施設稼働率を高めるためにも照明はあった方がよい。 ・プロ野球仕様は浜松市営球場とし、県営新野球場は防災・減災計画を基本の小型球場とすべきではないか。 ・硬式ができる野球場の数が少ないため、硬式ができる球場にするべきである。 	
	<p>(6) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小笠山総合運動公園に愛鷹球場クラス(照明付き)を作る方が良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小笠山総合運動公園に硬式野球場の建設を行う場合には、新たに建設可能な平地を造成する、または、現有施設を廃止して野球場に転用する、のいずれかの手法を選択することになります。しかし、建設段階から「健康とスポーツと自然」という公園コンセプトに基づき、豊かな自然環境や良好な自然景観を形成している区域の地形、特にオオタカが営巣する大きな山林の改変は行わない計画としています。また、現有の運動施設は高い頻度で利用されている状況にあるため施設の廃止について利用者の理解を得ることは非常に困難であると考えます。このようなことから、小笠山総合運動公園における硬式野球場の建設は困難と考えています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・野球場の活用方法の例をどんどん提示して、利用のイメージをつきやすくして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元(浜松市・経済界)が、公園周辺のまちづくりや大規模イベント誘致によるにぎわい創出について検討しているところです。この動きと連携してイメージの具体化を検討していきます。

No.	意見の要旨	意見に対する考え方
	<ul style="list-style-type: none"> 現在の試算による事業費を公表して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業費（建設費・維持費等）については、資材価格、人件費が高騰しており、先行きも不透明なことから、令和4年時点で算出した金額を公表しています。基本計画策定後、最新の事業費について算出していきます。
	<p>2 建設反対に関する意見</p> <p>(1) ドーム型反対</p> <ul style="list-style-type: none"> ドーム球場ではイベントの開催も多く望めず、赤字になると予想される。 ドーム球場では利用料金が高く、アマチュアの利用ができなくなる。 ドーム球場は本当に県民が望む球場なのか。 ドーム球場となれば人工芝となり、選手の足腰への負担、ケガが懸念される。 ドームが開閉式ではないと、敷かれる芝は人工芝となり、マイクロプラスチックによる海洋汚染への懸念も高まる。 プロ野球球団の本拠地でもないのにドーム球場は必要ない。 プロ野球はナゴヤドームで観戦すればよい。 ドーム球場は常に空調する必要があるため維持コストが増え、SDGsの観点からも良くない。 今年から静岡県にもプロ野球球団「ハヤテ223」が誕生したが、ホーム球場は静岡市清水区である。仮に球団発足数年後にプロ野球基準の県営球場が浜松市にでき、それが県内のプロ野球球団のホーム球場でないとすれば、県内での不協和音を感じるため、ドーム型は反対します。 	<ul style="list-style-type: none"> 野球場の規模・構造については、公園基本計画策定後、社会情勢やニーズの変化を注視しながら、整備の進め方や建設負担金、役割分担等について関係者と丁寧に協議を行うとともに、県民の皆様が利用しやすい施設となるよう配慮した上で、絞り込んでいきます。

No.	意見の要旨	意見に対する考え方
	<p>(2) 屋外型反対</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照明のない野球場は日中しか利用できず、新たに建設する価値がない。 ・照明なしのグラウンドはあまり利用されない球場になってしまう。 ・2.2万人屋外型は建設費が高い。 ・中途半端なものはいらない。 ・照明のない野球場を建設するのであれば、浜松球場を改修する方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・野球場の規模・構造については、公園基本計画策定後、社会情勢やニーズの変化を注視しながら、整備の進め方や建設負担金、役割分担等について関係者と丁寧に協議を行うとともに、県民の皆様が利用しやすい施設となるよう配慮した上で、絞り込んでいきます。
	<p>(3) 野球場自体が反対</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塩害の被害が心配である。 ・利用料金は一般利用者が支払える金額なのか。 ・イベントによる集客も多くを望めず、赤字になると予想される。 ・新野球場の建設は本当に県民が望んでいるのか。 ・浜松市営球場を改修するべきで野球場の整備は不要と考える。 ・浜松球場を存続させ、篠原地区に陸上競技場を設置できないか。 ・野球場として使用するより他の催し物の利用が多い野球場は野球場ではない。 ・当初は避難地としての機能だったはずの公園に、なぜ多目的活用施設（野球場）を設置するのか。 ・渚園や浜松市営球場の県営化など、野球場に対する各方面からのニーズや意見を反映した方向で進めて欲しい。 ・球場が足りないとのことだが、どんな野球（少年野球か一般社会人の野球か）部門が不足しているのか。 ・静岡市のアクセスの良いアリーナなどの競合施設に勝てるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠州灘海浜公園（篠原地区）は、昭和37年12月に都市計画決定された公園です。平成28年5月に公表した遠州灘海浜公園基本構想の中で、県内、東部、中部、西部地域に整備されている県営公園のスポーツ施設のバランスを考慮した上で、本公園に導入が望ましい大規模スポーツ施設を検討した際に、県西部地域には硬式野球チームの登録数が多く、野球場が不足していることから、野球場を当地区に整備することになりました。 ・浜松市が実施した候補地選定調査においても、敷地の広さ、交通アクセス、近隣への影響等から当地区が最適地と判断されています。

No.	意見の要旨	意見に対する考え方
	<p>3 建設位置について</p> <ul style="list-style-type: none"> アカウミガメの保護のためにドーム球場にするのであれば、別の建設地を探せないのか。 篠原地区は風が強く、野球場の建設地としてふさわしくないと考える。 当該地区は津波浸水想定区域であり、浜松市立地適正化計画においても新たな市街化を誘導区域としては除外扱いの地区である。 野球場の建設予定地としては利便性が悪い。 篠原地区はインフラ整備が乏しく、車道等の劣化が急速に進んでおり、高額な投資をするにふさわしくない場所である。 大型球場は渋滞を招くため、バイパスと接している場所に適さない。 	<ul style="list-style-type: none"> 遠州灘海浜公園（篠原地区）は、昭和37年12月に都市計画決定された公園です。平成28年5月に公表した遠州灘海浜公園基本構想の中で、県内、東部、中部、西部地域に整備されている県営公園のスポーツ施設のバランスを考慮した上で、本公園に導入が望ましい大規模スポーツ施設を検討した際に、県西部地域には硬式野球チームの登録数が多く、野球場が不足していることから、野球場を当地区に整備することになりました。 浜松市が実施した候補地選定調査においても、敷地の広さ、交通アクセス、近隣への影響等から当地区が最適地と判断されています。
	<p>4 津波対策・液状化対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> 津波や液状化の被害が深刻な場所であり、野球場建設地にふさわしくない。 	<ul style="list-style-type: none"> 浜松市沿岸域には、静岡県第4次地震被害想定レベル1（100年に1度程度）に対応できる高さの防潮堤が整備されています。 静岡県第4次地震被害想定レベル2（1,000年に1度程度）に対しては、野球場建設地における最大浸水深が50cm程度に改善します。基本計画策定後、液状化と合わせ対策を検討していきます。
	<p>5 災害拠点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ドーム球場は一次避難場所としても利用困難ではないか。 災害に強く、防災拠点として利用できる野球場にして欲しい。 野球場の形態を論議する前に、巨大津波が発生した場合の安全な避難計画が作れるか検討するのが先決ではないか。 	<p>発災直後の津波から生命を守るための一時的な避難場所として、レベル2津波で浸水しない高さを確保できるよう検討していきます。</p>

No.	意見の要旨	意見に対する考え方
	<p>6 自然環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アカウミガメへの人工光影響および対策の再検証するべきである。 ・自然環境に対する影響が不明のため建設反対である。 ・遠州灘海浜公園には第1種風致地区が設定されており、自然豊かな良好な環境を守るためにも、そもそも同公園内に野球場を作るべきではないと思う。 ・JR高塚駅からのアクセスが悪いため、大半はマイカーを利用することになり、脱炭素社会に逆行する政策を採ることになる。 ・野球場建設はアカウミガメに影響を与える。 ・アカウミガメを考慮した設計が必要である。産卵のピーク時期は夜間の使用はしないのも方法の1つである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に環境影響予測調査を実施した結果、「アカウミガメの子ガメの生態に人工光の影響がある」ことが判明しました。そのため、屋外型の野球場は照明施設の無いものとしています。 ・公園内の照明については、公園内の照度を落とす、照明施設の高さを低くする、足元灯の活用等を検討し、アカウミガメに影響のないようにすることとしています。 <p>このため、現段階では再検証の予定はありません。</p>
	<p>7 建設費について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドーム球場は建設費が大きいので不安がある。 ・ドーム球場の経費を別の事業に使用した方が良いと思う。 ・多額の経費をかけてまで野球場を建設する必要があるのか。 ・県の財政も厳しい中、野球場を建設する必要があるのか。 ・ドーム球場を建設するなら野球場建設に係る経費を浜松市が負担するべきである。 ・ドーム型球場を建設するなら建設費及び管理費を期成同盟会に負担してもらったらどうだ。 ・浜松市が建設・維持管理をし、県が建設費の支援をする、または浜松市が3案の内1番コストの低いものを超えた分を負担し、維持費も半額負担するのが良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本公園の建設費や維持管理費に関する県と浜松市の負担については、重要なことだと認識しています。基本計画策定後、県と浜松市で連携して、公園を含む全体的な利活用の構想を策定する中で検討していきます。 <p>また、民間活力導入による効率化・コスト縮減とサービス向上を実現する整備・管理運営手法についても併せて検討していきます。</p>

No.	意見の要旨	意見に対する考え方
	<ul style="list-style-type: none"> ・野球場建設に係る経費は浜松市も負担すべき。(ドーム球場でなくても) ・県が新球場建設にあたり全額負担すべきである。 ・維持管理費や施設運営費を、県と浜松市がどのような割合で費用を分担するのか、球場のタイプを決める以前に費用負担の議論が必要である。 	
	<p>8 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メイン球場は屋内設備を充実させ、高齢者も移動がしやすいように座席前にゆとりを設けて欲しい。 ・国際規格やプロ野球規格に沿った施設を望む。 ・本塁からバックネットまでの距離は14m未満にならない仕様とするべきだと思う。 ・メイン施設内のロッカールームやシャワー、大浴場などの施設を入れると利用者が多くなる。 ・ボールパークの理想は天然芝ですが、密閉型ドームでは望むべくもないため、せめて天然芝に近い色の人工芝を敷いてもらいたい。 ・円形スタジアムだけは避けて、ToBi0と統一してアーチ型屋根のドーム球場が好ましい。 ・下層スタンドと上層スタンドにコンコースを設けることで開放的になり、近年のスタジアムでは主流となっている。 ・適度な高さの外野フェンスがあるとよい。 ・左右非対称のフィールドとスタンドとすることで、エキサイティングなゲームが期待できる。 ・なだらかな下層スタンドとせり出しの大きい上層スタンドと物見櫓的観戦エ 	<ul style="list-style-type: none"> ・野球場に導入する施設や機能、管理・運営方法については、基本計画策定後、民間事業者のノウハウを入れながら、公園を含む全体的な利活用の構想を策定する中で検討していきます。

No.	意見の要旨	意見に対する考え方
	<p>リアがあるとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2.2万人多目的ドーム型は「みる」「稼ぐ」スポーツ施設とする必要があり、コンセプトを見直した上で、周辺商業施設も含んだまちづくりを行うことが望ましい。 	
5	<p>7章 官民連携による事業手法等の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支（運営収入と維持費）を示してほしい。 ・「使用料」がよくわからない。 ・駐車場は無料開放として欲しい。 ・稼働率が低くならないように、ソフト面の仕掛けを、官民が連携して考案するべきである。 ・地元スポーツチームなどの民間事業者が指定管理者となり、官民一体となりながら、事業計画策定していくことが望ましい。 ・ネーミングライツを構想段階から募集し、マーケティングに必要な設備を設置し、高額かつ長期間の契約をすることも可能となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営収入・使用料については、基本計画策定後、導入する公園施設が決定した段階で算出していきます。 ・維持管理費については、資材価格、人件費が高騰しており、先行きも不透明なことから、令和4年時点で算出した金額を記載しています。基本計画策定後、野球場の規模・構造を絞り込む中で再度算出していきます。 ・本公園の稼働率の向上については、重要なことだと認識しています。基本計画策定後、県と浜松市で連携して、公園を含む全体的な利活用の構想を策定する中で検討していきます。 ・公園の管理・運営方法等については、基本計画策定後、民間事業者のノウハウを入れながら、公園を含む全体的な利活用の構想を策定する中で検討していきます。

No.	意見の要旨	意見に対する考え方
6	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜松を本拠地とするプロ野球球団を誘致してほしい。 ・自治体として様々な野球やイベントの誘致を行って欲しい。(オープン戦や自主トレなど) ・プロ野球球団側にとって浜松市で開催するメリットを提示すべきである。 ・近辺の水質調査を定期的に行ってほしい。 ・地産地消の取り組みとして、施設建設する際は、「天竜材」など地元材木を活用するといひ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の運営方法等については、基本計画策定後、民間事業者のノウハウを入れながら、公園を含む全体的な利活用の構想を策定する中で検討していきます。 ・地元材木の活用については、基本計画策定後、民間事業者のノウハウを入れながら、公園を含む全体的な利活用の構想を策定する中で検討していきます。